

2008（平成20）年度第2回東海地区協議会研究会運営委員会議事録

日 時 : 2008年6月24日（火）10時～11時30分
場 所 : 同朋学園名古屋キャンパス D○プラザ閲蔵2階多目的会議室
出席者 : 加藤直美（愛知工業大学）、山田 稔（愛知淑徳大学）、
山本祐子（朝日大学）、三浦慶嗣（中京女子大学）、
岩本祥子（中部大学）、井上映子（豊田工業大学）、
紅露 剛（南山大学）、
國枝泰周、中澤章浩、角田久子（同朋学園大学部）

<敬称略>

（議題）

1. 第2回研究会について

日 程 9月30日(火) 13～17時（予定）

会 場 ・南山大学で行う予定であったが、日程および会場調整がつかず、
名城大学にお願いしてみるようになった。
名城大学が断られた場合は、授業等の都合がよければ豊田工業大学で
行うことになった。次の候補は愛知工業大学(本山キャンパス)とする。
いまのところ60名程度の部屋を用意できるとの確認ができています。

テーマ 「魅力ある蔵書構築：いかに利用者を引き付けるか」

内 容 ・事例発表を行う予定である。愛知淑徳大学の山田稔委員よりメールで
提案があった三重大学と名古屋大学のうち、名古屋市あるいはその近
辺の会場になった場合は名古屋大学附属図書館に20～30分間の事
例発表をお願いしてはどうかという意見が出された。名古屋大学に発
表が可能かどうか打診してみるようになった。

- ・第1回運営委員会において先進的な選書・収書システム(シラバスに基
づく収集方針、蔵書計画等)に関する事例発表を行うため、各委員がメ
ールで情報交換することになっていた。これについて、各館のマニユ
アル・規程集等を複写して、参加者に配布するのも有意義ではないか
との意見が出された。
- ・第1回研究会において参加者に呼びかけ、蔵書構築の事例について
今後メール等を通じて情報交換を行うことになった。また過去4～5
年分の収書基準・廃棄基準等があれば提供していただくよう依頼する。
- ・第2回・第3回研究会にむけたアンケート作成を行う。先日メールで
寄せられた中部大学の岩本祥子氏の案を基に、愛知淑徳大学の山田稔
氏の案を取り入れた形で同朋学園大学部が素案を作成し、各委員にメ
ールで送信する。

2. 第3回研究会について

日 程 10月29日(水) 13～17時(予定)

会 場 名古屋学院大学

テーマ 「図書館評価と満足度：利用者の望むサービス像」

内 容 ・当日の講師として中部大学の松林次長より以下の各氏について推薦があった。

東北学院大学教授 佐藤義則氏

筑波大学教授 永田治樹氏

慶応大学教授 岸田和明氏

この中では東北学院大学の佐藤教授が最適ではないかとの意見が出された。また慶応大学メディアセンターの市古みどり氏が講師としてふさわしいのではないかとの意見も出された。

3. 研究集会について

日 程 12月3日(水) 時間は未定

(事例発表の時間の長さ、応募者数によって、開始時間を調整する)

会 場 同朋学園名古屋キャンパス 成徳館J501教室

内 容 ・講演(1題)を行う。

・事例発表(複数題)を行う。次の①と②は確定。

①「新委員会」ワーキンググループ成果報告

②図書館サービス・システム委員会アンケート結果報告

・その他の事例発表については、前年度同様に7月下旬頃に募集文書を配布し、9月初旬頃に募集締め切りとする予定である。

・以上のことについて第1回運営委員会で確認したが、今回は詳細について協議する時間がなかったため次回の運営委員会で協議する。

・講演者・事例発表等内容について今後メールでの情報交換を行うことになった。(意見・提案を寄せ合う)

4. 次回(第3回)運営委員会の開催日程について

日 程 9月30日(火) 午前中

・会場が名城大学あるいは豊田工業大学、愛知工業大学のいずれかになる予定であるため、会場の都合により日程・時間等の変更がありうる。

会 場 名城大学あるいは豊田工業大学、愛知工業大学のいずれかになる予定。

5. その他

・本日の第1回研究会のスケジュール等について別紙資料に基づき同朋学園大学部より報告があった。